



古小だより

令和5年2月27日(月)

第12号

古平町立古平小学校

成長した1年

校長 三浦卓也

立春はとうに過ぎましたが、連日の降雪により道路わきには雪山がうず高く盛り上がり、登下校する子どもの姿が車のドライバーからは見えづらい状況です。学校では、車道を横断する際は、雪壁から飛び出さないよう左右をしっかりと確認して渡ることを指導しておりますので、保護者の皆様におかれましても、お子様にひと声かけていただきたく存じます。

さて、間もなく3月に入りますが、学校では、6年生が卒業へのカウントダウンを始め、残り少ない小学校生活の一日一日を大切に過ごしている様子が見受けられます。最高学年として、学校生活のあらゆる場面でリーダーとなり、「学校の顔」として、期待に応える活躍をしてくれた6年生。その姿を引き継ごうとしている5年生の中にも、次のリーダーとしての期待に応えようと燃えるようなエネルギーが感じられます。24日に実施した児童会企画「ありがとう集会」に向けての準備や当日の運営にも先頭に立って取り組み、顔つきも一層凛々しくなってきたように感じられます。

では、昨年4月に入学した1年生はどうでしょう。45分間、集中してしっかり先生のお話を聞き真剣に考える子どもに育ちました。あどけなさの中にも自信溢れる言動が数多くみられるようにもなりました。他の学年も同様、進級を前に一人一人が「やったこと」「できるようになったこと」を振り返り成長を確認するとともに、次の学年に向けての目標を立てております。進級や進学をステップに、子どもたちは大きく成長しております。

「褒めて育てよ」とよく言われますが、確かに叱られて、怒鳴られて指導されるよりは褒められた方が気分はよいものです。しかしやたら褒めればよいかというと、そうではありません。是非、この時期、「振り返り」を通しお子さんの本当の良い行動を見つけて評価してあげてください。「励まし、認め、育てる」ことを大切に、この1年の努力をご家庭で話題としていただければ幸いです。

【教育目標】

『勇気ある子ども』（全体目標）

- 「自分で考える子」（知）
- 「思いやりのある子」（徳）
- 「たくましい子」（体）

◆ 今年度の重点

テーマ **ほんわか古小**

育てる子どもの姿 **思いをカタチに表現できる子**

◇ 3月生活目標 **だれとでも仲良く協力しよう。**

新入学児童を迎えて ～一日体験入学～

1月26日（木）、4月に入学する令和5年度新入学児童の一日体験入学を行いました。来年度の入学予定児童数は14名です。

保護者の方が説明会に参加している間、新入学児童のみなさんは、小学校での学習や生活について話を聞きながら、校舎内の各教室を見て回りました。



そして見学の後には、1年生がクイズを出してくれたり、一人ひとりにプレゼントを渡してくれたりしました。



それぞれが、4月から始まる小学校生活を思い描いた一日になったことだと思います。

スキー学習 終了

本年度は、仁木スキー場に加えて、3年ぶりにキロロスキー場での学習も実施することができました。



「長い距離を滑る」という体験の中で、ターンなどの滑り方を学び、スキーの技能を高めることができました。



今年度のスキー学習実施に当たりまして、ご家庭におかれましてはスキー用具の準備等のご協力をありがとうございました。



漢字検定

2月10日（金）、日本漢字能力検定協会「漢字検定（漢検）」が、古平小学校を会場として行われました。

今年は10級（1年生相当）から5級（6年生相当）までに37名が挑戦しました。

漢検を通して、漢字の読み書きや筆順、四字熟語など、漢字に関心を持ち、主体的に学習に臨む姿勢が身につくことを期待しています。

